

学校だより 10月号

学校教育目標
重点目標

「美しい人」
「自分で考え自分で決める」～みんなのウェルビーイングを育成～

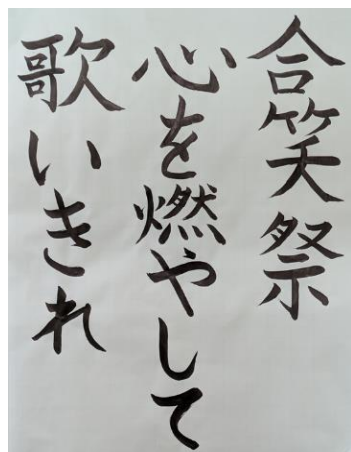
発行日 令和8年10月1日
北の台中学校長

実りの秋に

朝夕の風に、秋の気配を感じるようになりました。夏の暑さが少しずつ遠のき、空の高さや風の涼しさに、季節の移ろいを感じます。9月の学校は、毎日歌声が響いていました。9月28日の合唱祭に向けて、各クラスで練習を重ねていたからです。私も、廊下を歩きながら、教室から聞こえてくる歌声に耳を傾け、何度も練習の様子を見に行きました。最初から、きれいに声がそろっていたわけではありません。声の大きさも、歌い方も、曲に込めたい思いも、一人ひとり違います。

「もっと声を出したい」
「ここはこう歌いたい」
「もう少し合わせた方がいい」

令和8年度
スローガン



一人ひとりが、いろいろな思いを持っています。けれど、合唱は一人ではできません。自分の思いを持ちながら、相手の声に耳を傾ける。自分の考えを伝えながら、相手の考えも受け止める。そして、ときには自分の思いを少し変えたり、互いにすり合わせたりしながら、一つの歌をつくっていく。私は、そこに合唱という活動の大きな意味があるのだと思います。私たちは、これから先も、さまざまな人と関わりながら生きていきます。考え方も、価値観も、得意なことも、苦手なことも、一人ひとり違います。だからこそ、自分の考えを持つことと同時に、自分とは違う考えを持つ人の話を聴くことが大切です。違いをなくすのではなく、違いがあることを前提に、どうすれば一緒にやっていけるのかを考える。そのための力を、学校生活の中で少しずつ身につけていきます。

合唱祭は、ただ歌を発表する行事ではありません。一人ひとりが違うからこそ、聴き合い、考え、すり合わせる。そして、一人では生み出せないものを、仲間とともに作り上げる。そんな学びの時間でした。

そして迎えた9月28日。オーエンス文化会館大ホールに響いた歌声。歌い終えた瞬間のほっとした表情。そして、仲間と顔を見合わせる笑顔。今年の合唱祭スローガンは「合笑祭」。その「笑」は、ただ楽しかったから生まれた笑顔ではないでしょう。悩み、考え、時には思いがぶつかりながらも、仲間とすり合わせ、一つのものをつくり上げたからこそその笑顔だったのだと思います。

10月は、中間テスト、そして体育祭へと続きます。合唱祭で響いた歌声と笑顔を、次の学びへ、次の一歩へ。秋が深まるように、生徒の皆さんの中にも、これまでの経験が少しずつ実っていくことでしょう。

＜令和8年度 10月行事予定＞

日	曜	校内行事	清掃
1	木	中間テスト	
2	金	中間テスト	○
3	土	PTA役員・運営委員会	
4	日		
5	月	朝会、体育祭特別時間割開始	
6	火	校内研研修会(5校時:研修授業)	
7	水		○
8	木	専門委員会(⑦後期開始)	
9	金	授業参観日、1年懇談会、2・3年進路説明会	○
10	土		
11	日		
12	月	スポーツの日	
13	火		
14	水	市教育委員会指導訪問	○
15	木	朝のあいさつ運動	
16	金	朝のあいさつ運動	○
17	土		
18	日		
19	月		
20	火		
21	水	体育祭予行	○
22	木	体育祭予行予備日	
23	金	体育祭準備	○
24	土	第46回体育祭	
25	日		
26	月	体育祭の振替休日	
27	火	教育相談①	
28	水	教育相談②	○
29	木	教育相談③	
30	金	3学年実力テスト+総合、1・2年交通安全教室、教育相談④	○
31	土		

授業日数21日

最終下校 17:00